

栃歯発第359号
令和3年10月20日

関係団体長 各位

栃木県歯科医師会
会長 赤 沼 岩 男
〔公印省略〕

多職種連携による栄養指導・口腔機能向上支援体制整備事業（8020 運動推進事業）
ミールラウンド・モデル事業研修会開催（オンライン開催）について

錦秋の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

会務運営等につきまして、平素特段のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび本会では、県委託事業として、医療・介護従事者を対象に、栄養指導・口腔機能向上支援体制の構築を図ることを目的とした標記研修会を下記によりオンラインにて開催することといたしました。

つきましては、多くの参加者が得られますよう貴会会員等への周知について、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

なお、研修会にご参加いただける方がおられましたら、①所属・勤務先②職種③氏名④連絡先（電話）を記載の上、メール（kensyu@tochigi-da.or.jp宛）にて、令和3年11月8日（月）までに本会事務局までお申し込みくださるようお願い申し上げます。追って本会より11月9日（火）に招待メールを送信いたします。

ご不明な点がございましたら、栃木県歯科医師会事務局（TEL:028-648-0471）までご連絡をお願いいたします。

記

1. 日 時 令和3年11月21日（日）午後2時～午後4時
2. 場 所 Web会議ツールを活用したオンライン開催
（使用ツール：米Cisco Webex社「Cisco Webex Meetings」）
3. 講 演 多職種で行う経口摂取支援
「口から食べる楽しみのために歯科ができること」
大友歯科医院 院長 大友 文雄 先生
4. 対象者 歯科医師、歯科衛生士、医療・介護従事者など
5. 受講料 無 料
6. その他 接続テストを11月10日（水）・11日（木）【午前9時～10時】に実施いたしますので、是非ご利用ください。

多職種で行う経口摂取支援 「口から食べる楽しみのために歯科ができること」

大友歯科医院 院長 大友文雄

新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生した令和3年、団塊の世代の全てが75歳以上となる2025年も目前にせまりました。「感染症や災害への対応力強化」を図るとともに「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取り組み推進」などを柱に令和3年度介護報酬の改定が行われました。中でも、「自立支援・重度化防止の取り組み推進」において、リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の取り組み連携・強化を目的に、我々歯科と医科、看護、栄養専門職、介護従事者等の多職種連携が注目されるようになりました。

当院は、無床歯科診療所ですが、平成30年に在宅療養支援歯科診療所1の届出を行い在宅歯科診療を通して「口から食べる楽しみ」を微力ながら支援してきました。

今回は、多職種連携で行う経口摂取支援について歯科の立場から何が出来るのか、やるべきなのかについて、当院の経験も交えてお伝えしたいと思います。

大友文雄先生ご略歴

大友歯科医院院長

獨協医科大学口腔外科非常勤助教

小山歯科衛生士専門学校非常勤講師

一般社団法人小山歯科医師会 副会長

一般社団法人全国在宅療養支援歯科診療所連絡会 理事

多職種連携の会 おやま未来研究会 代表世話人

職歴

昭和62年 日本歯科大学新潟歯学部卒業

一般社団法人船州会船木歯科診療所

平成2年 獨協医科大学口腔外科

佐野厚生総合病院歯科口腔外科

平成4年 大友歯科医院

資格

歯科医師臨床研修指導医